



# 三月(大) 弥生 昴宿

三月六日啓蟄の節より  
月命乙卯四緑木星の月  
暗剣殺東南方

旧正月小  
二月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	其宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
1日	木	みのえつ	八白	奈良東大寺二月堂修二会 旧正月小	十四	友引	みつ	奎	大ま	6.12	17.36	16.45	5.34
2日	金	みのとみ	九紫	○望九時五十分、旧小正月、天一天上、 春の全国火災予防運動(1日〜7日)	十五	先負	たいら	婁	大ま	6.10	17.37	17.53	6.16
3日	土	きのえうま	一白	ひな祭 耳の日、新潟浦佐押合祭、 一粒万倍日	十六	佛滅	さだん	胃	神よし	6.09	17.38	18.59	6.55
4日	日	きのとひつじ	二黒		十七	大安	とる	昴	大ま	6.08	17.39	20.03	7.31
5日	月	ひのえさる	三碧		十八	赤口	やぶる	畢	大ま	6.06	17.39	21.05	8.06
6日	火	ひのと	四緑	啓蟄○時二八分、一粒万倍日、不成就日	十九	先勝	やぶる	觜		6.05	17.40	22.05	8.40
7日	水	つちのえいぬ	五黄	旧二十日正月、消防記念日	廿	友引	あやぶ	参		6.04	17.41	23.03	9.15
8日	木	つちのと	六白	国際婦人デー	廿一	先負	なる	井	母倉	6.02	17.42	23.59	9.52
9日	金	かのえ	七赤	○下弦二〇時二〇分、 茨城鹿島神宮祭頭祭	廿二	佛滅	おさん	鬼	母倉	6.01	17.43	—	10.31
10日	土	かのとし	八白	塩籠神社帆手祭	廿三	大安	ひらく	柳	五む日	6.00	17.44	11.14	11.14
11日	日	みづのえとら	九紫	三隣亡、一粒万倍日	廿四	赤口	とづ	星	大ま	5.58	17.45	12.49	12.49
12日	月	みづのとう	一白	奈良東大寺二月堂お水取り	廿五	先勝	たつ	張	天火	5.57	17.46	14.49	14.49
13日	火	きのえたつ	二黒	奈良春日大社祭	廿六	友引	のぞく	翼		5.55	17.46	15.59	15.59
14日	水	きのと	三碧	不成就日	廿七	先負	みつ	軫	十し	5.54	17.47	17.45	17.45

春らしい陽気の日がある  
と思うと、急に真冬に立ち  
返つたような寒い日もある  
月で、気温だけがなく、天候  
も激しい変わり方をする。  
関西では、十二日の奈良の  
お水取りが終わる。奈良の  
お水取りが、とやがて春の  
岸までとやがて春の岸まで  
物語っているようである。  
【冠】三月三日は「桃の節  
句」である。もともと「上  
巳の節句」といつたもの  
で、これが桃の節句や、雛  
の節句といわれるようになったのは江戸中期以降らしい  
く、現在のように立派で雛  
段の形式になったのは近年  
子になってからである。節句  
を「初節句」といい、雛人  
形を飾ってその子の将来を  
祝う。内裏雛(たいりびな)  
が、雛人形の典型になった  
のは、幼女が成長して、よ  
い結婚生活を送るように願  
う心の現れであろう。

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	其宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
15日	木	ひのえうま	四緑	京都嵯峨釈迦堂お松明	廿八	佛滅	たいら	角	神よし	5.53	17.48	16.24	22.26
16日	金	ひのとひつじ	五黄	西宮広田神社例祭	廿九	大安	さだん	亢	神よし	5.51	17.49	16.24	22.26
17日	土	つちのえさる	六白	●朔二二時二二分、近江八幡左義長祭、 ●朔二二時二二分、社日、旧月大	朔	友引	とる	氏	神よし	5.50	17.50	17.49	17.48
18日	日	つちのと	七赤	彼岸入り、石川氣多神社おいで祭(23日迄)、 二日灸、一粒万倍日、不成就日	二	先負	やぶる	房	百事よし	5.48	17.51	18.29	18.29
19日	月	かのえいぬ	八白	鹿兒島霧島神宮お田植祭、 上野動物園開園記念日	三	佛滅	あやぶ	心	大ま	5.47	17.52	19.31	19.31
20日	火	かのと	九紫		四	大安	なる	尾	百事よし	5.45	17.52	20.34	20.34
21日	水	みづのえね	一白	春分の日、春分一時一五分、彼岸中日、 N日K放送記念日、奈良法隆寺会式	五	赤口	おさん	箕	天おん	5.44	17.53	21.38	21.38
22日	木	みづのとうし	二黒		六	先勝	ひらく	斗	天おん	5.43	17.54	22.42	22.42
23日	金	きのえとら	三碧	世界気象デー、三隣亡、一粒万倍日	七	友引	とづ	牛	月とく	5.41	17.55	23.47	23.47
24日	土	きのと	四緑	彼岸明け、旧こと始め、旧針供養	八	先負	たつ	女	くま日	5.40	17.56	—	—
25日	日	ひのえたつ	五黄	●上弦〇時三五分、電気記念日、 奈良薬師寺花会式(31日迄)	九	佛滅	のぞく	虚	●	5.38	17.57	11.16	11.16
26日	月	ひのと	六白	不成就日	十	大安	みつ	危	十し	5.37	17.57	12.17	12.17
27日	火	つちのえうま	七赤	旧初午、宮城岩沼竹駒神社初午祭、 京都表千家利休息、 京都裏千家利休息、 東京品川千体荒神大祭	十一	赤口	たいら	室	神よし	5.35	17.58	13.22	13.22
28日	水	かのえさる	八白		十二	先勝	さだん	壁	神よし	5.34	17.59	14.28	14.28
29日	木	かのえさる	九紫	庚申	十三	友引	とる	奎	大ま	5.33	18.00	15.35	15.35
30日	金	かのと	一白	一粒万倍日	十四	先負	やぶる	婁	大ま	5.31	18.01	16.40	16.40
31日	土	みづのえいぬ	二黒	望二一時三七分、旧ねはん会	十五	佛滅	あやぶ	胃	大ま	5.30	18.02	17.45	17.45

【婚】婚礼の最も多い月の  
ひとつである。ことに大安  
の日となれば、式場はステ  
ジュールが完全にうまつて  
いるという。誰しもがよい  
日を選ぶのは当然である  
が、婚礼は本人同士の誓い  
を中心にして、近親の承認と祝福  
を得れば十分。結婚披露宴  
は、大宴を張るよりも時間  
内にムードを盛り上げるよ  
う工夫しよう。

【葬】彼岸入りから彼岸明  
けまでの「春分」を中心  
にした七日間は春のお彼岸で  
ある。真西に太陽が没する  
この期間、西方に浄土があ  
るといふ仏教の教えから、  
無欲悟道の対岸の域に一番  
近い日とされ、死者の冥福  
を祈り、仏供養、墓参りな  
どをする。

【祭】奈良東大寺の二月堂  
では、十三日未明に堂前の  
若狭井の水を汲んで加持の  
行方。これは厳しい戒律の  
もとに千数百年にわたって  
続けられているわが国有数  
の重要行事である。  
春分、秋分にも近いつ  
ちのえの日を「社日」とい  
い、農耕の神を祭る。社日  
の社は「示」と「土」から成り  
立ち、土の神の意味である。